

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-001	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
フレッシュマンセミナー		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	
授業の目的・目標					
沼津情報・ビジネス専門学校の学生として、思いやりのある誠実な心（あいさつ・時間・そうじ）を意識し、基本的な生活態度を身につける。 グループで考え行動することで、クラスメイトや同期生にたいしての仲間意識を持つ。					
授業の概要					
アクティビティやワークを繰り返す中で、楽しみながら沼情コンセプトを理解する。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価する				期末試験	0%
				課 題	0%
使用テキスト・教材					
・行うアクティビティに応じて教材を作成（自作）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1日目オリエンテーション（挨拶指導・自己紹介）		2			
実習（クラス対抗50マス紹介）		1			
2日目実習（クラス混合アクティビティ）		3			
3日目実習（クラス混合アクティビティ）		4			
学校の説明、学生便覧、教務規定の説明		1			
後藤先生の「心の授業」		1			
クラスごとの企画		3			
その他			関連科目		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-C02	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントⅠ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	渡邊 尚明
授業の目的・目標					
社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。					
授業の概要					
コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価する				期末試験	0%
				課 題	0%
使用テキスト・教材					
キャリアデザインワークショップⅡ、ザ・コミュニケーション					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
BCSA診断		1	柔軟性		1
コミュニケーションの基本		1	コミュニケーションの基本(復習)		4
心理的環境の管理					
実行力・ストレスコントロール力					
表現方法の調整		1			
質問の活用		1			
相手からのメッセージへの対応		1			
物理的環境の整備		1			
社会人基礎力の理解, 働きかけ力		1			
傾聴力・状況は握力		1			
発信力・主体性		1			
問題発見力・計画力		1			
その他			関連科目		

シラバス(授 業 概 要)				年 度	2019年度
時間数は45分換算				科目コード	C-003
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
キャリアディベロップメントⅡ			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	
授業の目的・目標					
・ 社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。					
授業の概要					
・ コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 ・ コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価します。					積極性 50% 出欠席 50%
使用テキスト・教材					
「キャリアデザインワークショップⅡ」 ウチダ人材開発センタ					
授業内容・授業計画					
	時間数	時間数			
1年次の振り返り	2				
社会人基礎力の応用（実行力）	2				
社会人基礎力の応用（柔軟性）	2				
社会人基礎力の応用（発信力）	2				
社会人基礎力の応用（働きかけ力）	2				
社会人基礎力の応用（状況は握力）	2				
社会人基礎力の応用（計画力）	2				
社会人基礎力の応用（主体性）	2				
社会人基礎力の応用（想像力）	2				
社会人基礎力の応用（ストレスコントロール力）	2				
社会人基礎力診断	2				
グループワークによるコミュニケーションスキルアップ	8				
その他		関連科目			
就職活動をスムーズに行う。		・ 就活ゼミⅡ、教養ゼミⅣ			

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-004	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
就活ゼミ I		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	渡邊 尚明 吉田 文昭
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価する。				期末試験	0%
				課 題	0%
使用テキスト・教材					
・ Career Guide book 2020 (沼津情報・ビジネス専門学校オリジナル)					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
働くということ・社会人としての自覚		1	電話、面接での問い合わせ	1	
自己分析・自分の魅力探し		1	履歴書の書き方	2	
就職活動の流れと本校における		1	面接の仕方	2	
提出書類の確認・就職コーナーの活用			内定後の過ごし方	1	
Webサイトでの情報収集		1			
業界研究・企業研究		1			
求人票の見方、給与・保険制度		1			
職種研究		1			
筆記試験対策		1			
会社説明会		1			
その他			関連科目		

シラバス(授 業 概 要)				年 度	2019年度
時間数は45分換算				科目コード	C-005
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
就職活動ゼミⅡ			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	吉村・石野
授業の目的・目標					
・就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。					
授業の概要					
・自己表現をすることと、希望の会社について学ぶことをバランスよく行う。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価しする。					積極性 50% 出欠席 50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
科内交流会	2				
小論文とは（小論文の書き方）	2				
文章の読み書きの規則	2				
小論文演習	4				
ハローワーク登録	2				
就職に関するグループワーク	2				
電話対応演習	2				
自己分析	2				
マナーと企業研究	2				
書類送付、メールの送信	2				
実践的プレゼンテーション	2				
S P I 練習	6				
その他			関連科目		
就職活動をスムーズに行う。			・キャリアディベロップメントⅡ、教養ゼミⅣ		

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度 C-006
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
教養ゼミ I		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	各担当
授業の目的・目標					
各科の専門だけでなく幅広い教養を身に付け、学習の視野を広げる。					
授業の概要					
選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生から選択し、身に着けることを目的に開講する。					
成績評価の方法					
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					
使用テキスト・教材					
各担当による。					
開講講座(令和元年度)					
DTP お菓子作り パーソナルカラー 一般常識 英会話 イラスト入門 ゼミナール(中国語) インタビュー 心理学 ワープロ実務(準1級) ワープロ実務(1級以上) POPデザイン ゼミナール(ピアノ入門)		ゼミナール(体育Ⅰ) ゼミナール(体育Ⅱ) ゼミナール(運転と安全Ⅰ) ゼミナール(演劇) ゼミナール(インテリア植物の育て方)			
その他			関連科目		

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-005	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
教養ゼミⅡ			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	込山まゆみ		
授業の目的・目標							
社会と関わる上で必要な対人関係・コミュニケーションの必要性を理解し、その基礎と技術を学ぶことで、どの環境下でも自信を持って他へ自己表現をしながら、己の持てる力を十分に社会に貢献できる人材の育成。『挨拶をしっかりとできる人を目指す。』							
授業の概要							
どうしてコミュニケーションが必要なのか？という事を理解して、なるだけ実技、グループワークを行って他者の存在を実感してもらう。バーチャルではない現実世界での自分の在り方、コミュニケーションのルールなどを身に付けてもらいたい。 就職試験対策も織り交ぜながら将来を見据えた実践をしていく。							
成績評価の方法							
グループワーク・提出物・授業態度から評価する。試験はなし							
使用テキスト・教材							
コミュニケーション技法～自分を大きく見せる話し方～(ウイネット)							
講師作成資料も使用							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
自己紹介 未来図作成			1	聞く力(聞くことの重要性)			1
関わる力+伝える力+聞く力				プレゼンテーション(ゲーム紹介バトル)			1
(100%の挨拶)				就職試験対策(みだしなみとは？見た目について)			1
(礼儀がベース)				就職試験対策(履歴書作成 自己PR)			1
コミュニケーションとは			1	就職試験対策(面接までの流れ)			1
ストローターゲーム				就職試験対策(実践)			1
あいさつの大切さ(かかわる力)			1	まとめ			1
実践 お辞儀 あいさつ言葉							
あいさつ実践 活舌 笑顔			1				
グループワーク			1				
伝える力(日本語の使い方)			1				
伝える力(まとめ方)			1				
伝える力(表現力)			1				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。				・情報基礎理論			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				(アルゴリズム・システム開発)			

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度 C-C08
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
就職活動ゼミⅡ			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	
授業の目的・目標					
・選択科目を受講する科目である。選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を受講する。					
授業の概要					
・講座により内容は異なる。					
成績評価の方法					
・各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
DTP			ゼミナール(お菓子作り)		
カラーコーディネート(パーソナルカラー)			イラスト入門		
イラスト入門					
ゼミナール(中国語)					
ワープロ実務(準1級)					
ワープロ実務(1級以上)					
POPデザイン					
ゼミナール(ピアノ入門)					
ゼミナール(フラダンス)					
ゼミナール(体育Ⅰ)					
ゼミナール(体育Ⅱ)					
ゼミナール(運転と安全)					
その他			関連科目		
履修は学生の希望アンケート調査により決定する。					

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-009	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
教養ゼミⅣ			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	込山		
授業の目的・目標							
・ 社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。							
授業の概要							
・ コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 ・ コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。							
成績評価の方法							
出欠席や積極性などで評価します。					積極性	50%	
					出欠席	50%	
使用テキスト・教材							
「キャリアデザインワークショップⅡ」 ウチダ人材開発センタ							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1年次の振り返り			2				
社会人基礎力の応用（実行力）			2				
社会人基礎力の応用（柔軟性）			2				
社会人基礎力の応用（発信力）			2				
社会人基礎力の応用（働きかけ力）			2				
社会人基礎力の応用（状況は握力）			2				
社会人基礎力の応用（計画力）			2				
社会人基礎力の応用（主体性）			2				
社会人基礎力の応用（想像力）			2				
社会人基礎力の応用（ストレスコントロール力）			2				
社会人基礎力診断			2				
グループワークによるコミュニケーションスキルアップ			8				
その他				関連科目			
就職活動をスムーズに行う。				・ 就活ゼミⅡ、教養ゼミⅣ			

シラバス(授業概要)			年 度		2019年度
			科目コード		C-G10
授 業 科 目 名			時間数は45分換算		授業形態
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
コミュニケーション活動Ⅰ			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	渡邊 尚明 吉田 文昭
授業の目的・目標					
学校行事など、通常科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。 郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が期待できる。					
授業の概要					
コミュニケーションを深めるとともに、集団生活における個々の役割・分担を再確認する。					
成績評価の方法					
出欠席、授業態度等				期末試験	0%
				課 題	0%
使用テキスト・教材					
資料配布あり。					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
入学式		2	沼情祭		2
ボウリング大会		2	第1次進級発表		1
春のハイキング		4			
終業式・前期成績発表		2			
始業式・防災訓練		2			
資格表彰式		1			
新年始業式		1			
卒業研究発表会（系）		2			
後期成績発表		1			
卒研研究発表会（全体）		2			
沼情祭準備		2			
その他			関連科目		

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
				科目コード		C-G11	
授 業 科 目 名				授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス	
コミュニケーション活動Ⅱ				演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		吉村・石野
2	通年	必修	90	3			
授業の目的・目標							
・始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。							
授業の概要							
・始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンス、海外研修							
成績評価の方法							
・出席点で評価する。						出欠席	100%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
始業式、卒業式			8				
ハイキング			16				
卒業研究発表会			12				
就職ガイダンス			14				
海外研修			40				
その他				関連科目			
各種イベントに積極的に参加しましょう。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SR01	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
パソコン利用技術		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	
授業の目的・目標					
・パソコンの利用に慣れるために実施する。 ・CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。					
授業の概要					
皆さんは入学後、大勢で利用するので一定のルールのもと、学校のネットワークに接続する。その接続方法やコンピュータの中にはどのような部品があるのか、プリンタなどの外部の装置、メールの使い方などを学びます					
成績評価の方法					
提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。				課 題	50%
				出欠席	50%
使用テキスト・教材					
CompTIA IT Fundamentalsテキスト（ウチダ人材開発センタ）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
パソコンの初期設定、使用上の注意		2			
インターネット接続、プリンタ設定		1			
アプリケーション設定		1			
コンピュータとOS		2			
モバイルデバイス		1			
ストレージ		2			
CPUとメモリー		2			
メンテナンスとトラブルシューティング		2			
チェック問題と検定対策		1			
模擬試験		1			
その他			関連科目		
資格試験の合格を目指す。			・ソフトウェア、ハードウェア		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SR02	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
HTML基礎		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	中村 知枝美
授業の目的・目標					
HTML言語を使用してホームページを作成する方法を学習する。 スタイルシート（CSS）を使用してバランスのとれたページを作成する。					
授業の概要					
WebページはHTMLで書かれており、ホームページ作成ソフトに頼らずWebページを作成できることは、コンピュータに携わっていく上で役に立つ。					
成績評価の方法					
課題提出				課 題	100%
使用テキスト・教材					
はじめてのホームページHTML5					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
ホームページの仕組み	1	練習問題（課題）			1
文字の表示	1	練習問題（課題）			1
文字の強調・ルビ・特殊文字など	1	練習問題（課題）			1
ページのアウトラインの構成	1				
練習問題（復習）	1				
画像の表示	1				
動画の表示、音声の貼り付け	1				
リスト、表組の作成	1				
練習問題（課題）	1				
リンクをはる	1				
スタイルシートを記述①	1				
スタイルシートを記述②	1				
その他			関連科目		
			・HTML応用		

シラバス(授 業 概 要)					時間数は45分換算	年 度	2019年度
						科目コード	C-SR03
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
H T M L 応 用			講 義 ・ 演 習		コ ン プ ュ ー タ 科		
履 修 学 年	履 修 学 期	必 修 ・ 選 択	時 間 数	単 位 数	担 当 教 員		
2	前 期	必 修	30	1	中 村		
授業の目的・ 目 標							
・ プレゼンテーションを理解し、社会人として適切なプレゼンテーションができるようになる。							
授業の概要							
・ 視覚化・ 図解化のツールとしてパワーポイントを使用する。							
成績評価の方法							
・ プレゼンテーション（発表）						発 表	80%
						出 欠 席	20%
使用テキスト・ 教 材							
30時間でマスタープレゼンテーション＋PowerPoint							
授業内容・ 授業計画							
			時間数	時間数			
プレゼンテーションの心得			2				
PowerPoint基本操作			2				
プレゼンテーションのテクニック			2				
班別プレゼンテーション			8				
班別プレゼンの発表・ 評価・ 反省			2				
個人プレゼンテーション			10				
個人プレゼンの発表・ 評価・ 反省			4				
その他				関連科目			
				・ 就活ゼミⅡ、教養ゼミⅣ			

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SR04	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
表計算基礎			実習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	1	山本 葉子		
授業の目的・ 目標							
表計算（E x c e l）の基礎を学び、就職後の実務に役立つようにする。 MOS E x c e lの合格							
授業の概要							
E x c e lの基礎を身につけ、MOS合格を目指す。							
成績評価の方法							
課題提出 期末試験（実技）結果					期末試験	70%	
					課 題	30%	
使用テキスト・ 教材							
MOS攻略問題集E x c e l 2 0 1 6							
授業内容・ 授業計画							
			時間数				時間数
Excelの概要			2	グラフ作成			4
データ入力・削除				棒・折れ線・円・3D・複合			
表作成			2	ドーナツ・散布図・レーダーチャート			
書式設定・罫線・計算				データベース			4
関数			6	並び替え・フィルタ・集計			
SUM・AVERAGE・MAX・				MOS E x c e l			
MIN・COUNT・COUNTA・				第1章 ワークシートやブックの作成と管理			2
RANK・IF・AND・OR・				第2章 セルやセル範囲の作成			2
ネスト・ROUND・INT				第3章 テーブルの作成			2
ROUNDUP・ROUNDDOWN				第4章 数式や関数の適用			2
SUMIF・AVERAGEIF				第5章 グラフやオブジェクトの作成			2
COUNTIF・文字列操作				まとめ（演習）			2
その他				関連科目			

シラバス(授 業 概 要)					時間数は45分換算		年 度	2019年度
							科目コード	
授 業 科 目 名				授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
表計算応用				講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	後期	必修	30	1	山本 葉子			
授業の目的・目標								
前期の表計算基礎を基に、MOS E x c e l 合格のために模擬問題を行う。								
授業の概要								
MOS E x c e l 合格を目指す。								
成績評価の方法								
MOS E x c e l 結果							試験	100%
使用テキスト・教材								
MOS 攻略問題集E x c e l 2 0 1 6								
授業内容・授業計画								
MOS E x c e l			時間数					時間数
模擬練習問題 1, 2			4					
模擬テスト 1～5			10					
模擬テスト 復習			16					
模擬テスト 1～5 を合格点に達するまで何回も行う								
その他				関連科目				
				・ 表計算基礎				

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度 C-SR07
授 業 科 目 名			時間数は45分換算		授業形態
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
アルゴリズム基礎			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	植松 甫 吉田 文昭
授業の目的・目標					
プログラムを作成するうえで必要となるロジックの作り方を学習します。					
授業の概要					
初めに基本的な流れ図記号から学習し、変数への代入方法、大小を比較する処理の分岐方法を学習します。次に繰り返し処理、2重ループの作り方を学習します。さらに配列処理を学習します。これには1次元配列、2次元配列とあります。さらに配列を用いた文字列処理、探索処理を学習します。最後に並べ替えについて学習します。					
成績評価の方法					
期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠状況で評価します。				期末試験	70%
				課 題	30%
使用テキスト・教材					
データ構造とアルゴリズム					
・演習課題あり。					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
代表的な流れ図記号	1	1次元配列1 (要素、添え字)	1		
変数と定数	1	1次元配列2 (繰り返し、合計処理)	1		
カウンタ	1	1次元配列3 (最大値、最小値)	1		
集計 (集計の方法)	1	ここまでのまとめの演習	1		
二重ループ1 (二重ループの作り方)	1				
二重ループ2 (行の処理、列の処理)	1				
二重ループ3 (演習)	1				
複合条件1 (AND, OR)	1				
複合条件2 (演習)	1				
フラグ (フラグの使い方)	1				
ここまでのまとめの演習	1				
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			・情報基礎理論 (プログラム言語・システム開発)		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-SR-08	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
アルゴリズム応用		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	植松 甫 吉田 文昭
授業の目的・目標					
プログラムを作成するうえで必要となるロジックの作り方を学習します。					
授業の概要					
テキストに問題がたくさん乗っています。これらを自分で順番に解いていくことで実力が付きます。地道に一つひとつの問題を解いていきます。					
成績評価の方法					
中間試験と期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠状況で評価します。				期末試験	70%
				課 題	30%
使用テキスト・教材					
データ構造とアルゴリズム					
・演習課題あり。					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
2次元配列1 (行、列、要素の表し方)	1	整列アルゴリズム3 (基本挿入法)	1		
2次元配列2 (要素への代入1)	1	整列アルゴリズム4 (クイックソート)	1		
2次元配列3 (要素への代入2)	1	ここまでのまとめの演習	2		
2次元配列4 (集計の仕方)	1				
文字列の利用	1				
線形探索1 (データの発見、終了条件)	1				
線形探索2 (フラグを使った方法)	1				
二分探索1 (データの発見、終了条件)	1				
二分探索2 (昇順、降順)	1				
整列アルゴリズム1 (基本選択法)	1				
整列アルゴリズム2 (基本交換法)	1				
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。		・情報基礎理論 (プログラム言語・システム開発)			

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-SR09	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
ハードウェア		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	吉村 眞光 小針 恒雄
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験(午前)、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。					
授業の概要					
かなり広範囲に渡って学習します。更に情報処理試験、CompTIA試験でも中心となる分野です。一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価します。				期末試験	70%
				課 題	30%
使用テキスト・教材					
ITワールド(第1部ハードウェア, 第4章～第5章)(第2部情報処理システム)					
CompTIA IT Fundamentalsテキスト(第6章インターフェイス、第7章入出力デバイス)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
磁気ディスク装置1	1	周辺機器その他のインターフェース	1		
磁気ディスク装置2)	1	入力デバイス	1		
光ディスク他の補助記憶媒体・装置	1	出力デバイス	1		
入出力装置①	1	チェック問題他	1		
入出力装置②	1				
情報処理システムの処理形態	1				
高信頼化システムの構成	1				
情報処理システムの評価	1				
ヒューマンインターフェース	1				
マルチメディア	1				
ディスプレイとのインターフェース	1				
その他		関連科目			
		・ソフトウェア			

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度 G-SR10
授 業 科 目 名				授 業 形 態	
ソフトウェア				講義・演習	
				学 科 ・ コー ス	
				コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	吉村 眞光 小針 恒雄
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。					
授業の概要					
かなり広範囲に渡って学習します。更に情報処理試験、CompTIA試験でも中心となる分野です。一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価します。				期末試験	70%
				課 題	30%
使用テキスト・教材					
ITワールド（第3部ソフトウェア）					
CompTIA IT Fundamentalsテキスト（第4章アプリケーション）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
ソフトウェアの分類①		1	小型コンピュータのファイル管理		1
ソフトウェアの分類②		1	バックアップ		1
ソフトウェアライセンスによる分類		1	アプリケーションの基本と種類		1
ジョブ管理		1	アプリケーションの管理、チェック問題		1
タスク管理、ディスパッチャ		1			
記憶管理、その他の管理機能		1			
プログラム言語		1			
言語プロセッサ、サービスフロクフム、		1			
プログラムの属性		1			
ファイルとレコード		1			
ファイルのアクセス方式		1			
ファイル編成方式、		1			
その他			関連科目		
			・ハードウェア		

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度 G-SR11
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
データベース基礎		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	高木 郁子
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）、ITパスポート試験合格を目指す。 データベースの種類、特徴、データベースモデル、3層スキーマの基本的な考え方やデータベース管理システムの目的、代表的な機能などデータベースの基礎的な学習を行う。					
授業の概要					
用語を覚えることを中心に学習します。更に情報処理試験でも中心となる分野です。 一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価します。				期末試験	70%
				課 題	30%
使用テキスト・教材					
ITワールド(第4部データベース)、栢木先生の基本情報技術者教室(第8章データベース技術)					
・演習課題あり。					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
データベースの概要			SQL データ定義①	1	
DBとファイルの違い, DBの設計		1	SQL データ定義②	1	
関係演算, 集合演算		1	SQL データ操作①	1	
DBの概念設計 (E-Rモデル)		1	SQL データ操作②	1	
DBの論理設計 (正規化の目的と手順)		1	いろいろなデータベース	1	
DBの論理設計 (第一正規化～)		1	演習問題		
データベース管理システム (DBMS)					
データベース定義機能		1			
データベース操作機能		1			
データベース制御機能		2			
データベースのトランザクション管理		1			
その他			関連科目		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SR12	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
データベース設計演習		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	吉村・石野
授業の目的・目標					
・ Access VBAを学習する。 ・ Access VBAで簡単なOfficeアプリケーションを開発する。					
授業の概要					
・ テキストに基づいて演習を行う。 ・ 最後に課題制作を行う。					
成績評価の方法					
授業中に作成したデータベースと課題により評価する。				課 題	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
Accessによるシステム構築問題集（ムゲンダイ出版）					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
データベースについて、Accessの使い方		2	メニューの作成	2	
データベース、テーブルの作成方法		2	課題作成1 住所管理システムの開発	6	
顧客テーブルの作成		2	課題作成2 メディア管理システムの開発	6	
顧客情報フォームの作成		2	課題作成3 売上管理システムの開発	6	
顧客フォームを使って情報登録		2	課題作成4 成績管理システムの開発	8	
商品テーブルの作成		2	総合問題 レンタルDVDシステムの開発	8	
商品情報のフォームの作成		2			
注文テーブルの作成		2			
リレーションシップ		2			
請求書の作成		2			
月ごとに売り上げをまとめる		2			
Excel、Wordとの連携		2			
その他			関連科目		
自分でシステムを積極的に作成してもらいたい。			・ 卒業研究、データベース基礎		

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
				科目コード		C-SR13	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
システム開発基礎			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	鈴木 孝昌		
授業の目的・目標							
この授業では、情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Webアプリケーション開発について学習する。							
授業の概要							
I Tパスポート、基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる知識を習得し、情報システム戦略の意義とシステム開発の方法・手順を理解する。							
成績評価の方法							
学期末試験の成績で評価する。						試 験	100%
使用テキスト・教材							
「IT戦略とマネジメント」株式会社インフォテック・サーブ							
授業内容・授業計画							
第3部 情報システム戦略			時間数				時間数
1. 情報システム戦略の概要			2	1.3 保守・廃棄プロセス			8
1.1 情報システム戦略のプロセス				2. ソフトウェア開発技術			
1.2 業務プロセスとソリューションビジネス				2.1 ソフトウェア開発手法			
2. 情報システム企画			2	2.2 ソフトウェア設計手法			4
2.1 企画プロセス／開発計画				3. システム開発環境			
2.2 要求定義／分析				3.1 知的財産適用管理			
2.3 調達				3.2 開発環境管理			
第4部 開発技術			12	3.3 構成管理・変更管理			2
1. システム開発技術				4. Webアプリケーション開発			
1.1 システム開発プロセス				4.1 Webアプリケーション			
1.2 ソフトウェア実装プロセス				4.2 Webアプリケーション開発			
その他			関連科目				
I Tパスポート、基本情報技術者試験の基礎となる科目である。			・IT戦略とマネジメント、システム開発演習				

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算	年 度	2019年度
					科目コード	C-SR14
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
I T戦略とマネジメント			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	鈴木 孝昌	
授業の目的・目標						
企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントについて学習する。						
授業の概要						
I Tパスポート、基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる基礎知識と応用力を習得する。						
成績評価の方法						
学期末試験の成績で評価する。					試 験	100%
使用テキスト・教材						
「IT戦略とマネジメント」株式会社インフォテック・サーブ						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
第1部 企業と法務			2	第5部 プロジェクトマネジメント		2
1. 企業活動				1. プロジェクトマネジメントの概要		
1.1企業活動の目的				1.1目的と考え方		
1.2企業の組織体系			2	1.2実施方法		
1.3経営管理				1. サブジェクトグループ		2
2. 企業会計			2	2.1統合マネジメント		
2.2管理会計				2.2スコープマネジメント		
4. 法務と標準化			2	2.3タイムマネジメント		
4.1知的財産権				2.4コストマネジメント		2
4.2セキュリティ関連法規				2.5品質マネジメント		
4.3労働関連・取引関連法規			2	2.6リスクマネジメント		
4.4その他関連法規				2.7その他のマネジメント		
4.5コンプライアンス			2	第6部 サービスマネジメント		2
4.6標準化と認証制度				1. サービスマネジメントの概要		
第2部 経営戦略マネジメント			2	1.1目的と考え方		
1. 経営戦略マネジメント				1.2システムの確立及び改善		
1.1経営戦略マネジメント				1.3 I T I L		2
1.2マーケティング				2. サービスマネジメントの手法		
1.3ビジネス戦略と目標評価			2	2.1サービスの設計・移行		
1.4経営管理システム				2.2サービスマネジメントプロセス		2
3. ビジネスインダストリ				2.3サービスの運用		
3.1ビジネスシステム				2.4ファシリティマネジメント		
3.2エンジニアリングシステム				期末試験		2
その他			関連科目			
I Tパスポート、基本情報技術者試験の基礎となる科目である。			・システム開発基礎、システム開発演習			

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2019年度
						科目コード	C-SR15
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
ネットワーク基礎			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	小針 恒雄		
授業の目的・目標							
基本情報技術者試験（午前）、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。							
授業の概要							
覚えることが多い科目ですが、ネットワークの世界で共通に話されている事柄が主となります。確実に覚えるようにしてください。							
成績評価の方法							
前期末試験及び出欠席状況で評価する。						期末試験	50%
						出 欠 席	50%
使用テキスト・教材							
ITワールド（第5部ネットワーク） CompTIA IT Fundamentalsテキスト（第8章ネットワーク接続、第9章ネットワークのプロトコルと応用、付録）							
授業内容・授業計画							
ネットワークの種類と特徴、ネットワークの基本構成			時間数	ワイヤレスネットワーク、ネットワークの接続形態			時間数
ネットワークの基礎技術、伝送制御手順			2	ネットワークのプロトコル、ネットワークのコマンド			2
通信サービス、ネットワークアーキテクチャとは			2	ネットワーク設定、モバイル接続・無線接続・有線接続			2
OSI（開放型システム間相互接続）、TCP／IP			2	通信の暗号化とネットワークストレージ			2
LANの基礎技術、その他のLAN技術			2	付録：TCP／IP			2
TCP／IPプロトコル、インターネットの基本構成			2	チェック問題他			2
インターネットサービス、ネットワーク運用管理			2				
ネットワーク管理手法			2				
ネットワークの概念、インターネットの接続方式と機器・ケーブル			2				
その他				関連科目			
ITパスポート、基本情報技術者試験の基礎となる科目である。				・情報セキュリティ、ネットワーク設計演習			

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度
時間数は45分換算				C-SR16	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
情報セキュリティ			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小針 恒雄
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。					
授業の概要					
覚えることが多い科目ですが、セキュリティの世界で共通に話されている事柄が主となります。確実に覚えるようにしてください。					
成績評価の方法					
前期末試験及び出欠席状況で評価する。				期末試験	50%
				出 欠 席	50%
使用テキスト・教材					
ITワールド（第6部セキュリティ）					
CompTIA IT Fundamentalsテキスト（第10章セキュリティ）					
授業内容・授業計画					
情報セキュリティの概念 資産、脅威(人的・技術的・物理的)、脆弱性		時間数	2	リテ	時間数
情報セキュリティ技術 暗号化技術、認証技術、PKI		2	2	情報セキュリティの3大要素、マルウェア	2
情報セキュリティ管理 情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント		2	2	Windows Update、パスワードマネジメント	2
情報セキュリティ機関・評価基準 情報セキュリティ機関・評価基準		2	2	ソフトウェアファイアウォールの有効化と無効化、アンチマルウェアの有効・無効化とアラート	2
人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策		2	2	利用していない機能の無効化、オープンWi-Fi	2
物理的セキュリティ対策		2	2	タイムアウトとロックオプション、セキュアな接続やWebサイトの確認	2
セキュリティ実装技術① セキュアプロトコル、ネットワークセキュリティ		2	2	IEのセキュリティ機能、Webブラウザとプラグインのアップデート	2
セキュリティ実装技術② データベースセキュリティ、アプリケーションセキュ		2	2	モバイルデバイスのセキュリティ対策、スマートデバイス管理他	2
その他			関連科目		
ITパスポート、基本情報技術者試験の基礎となる科目である。			・ネットワーク基礎、ネットワーク設計演習		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-SR17	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
プログラム言語 I (C言語)		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	90	3	
授業の目的・目標					
- 基本情報処理技術者試験に必要な知識の習得 - サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験3級～2級受験に向けた知識の習得					
授業の概要					
授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視します。確認テストや実習問題、テキストの問題を確実に解いていくことで実力が付きます。常に「何故そうなるのか」という気持ちを持ち、自分でしっかりと考え、理解することが大切です。					
成績評価の方法					
中間試験と期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。				期末試験	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
「Cプログラミング」(株式会社インフォテック・サーブ) 演習課題(自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
C言語とは(特徴、コーディング)		4	getchar()関数とputchar()関数	2	
画面への出力(sprintf()関数)		6	ビット演算(論理演算、シフト演算)	4	
キーボードからの入力(scanf()関数)		4	配列(一次元、二次元、配列操作等)	10	
数値計算(代入、算術演算、複合演算子)		2			
異なるデータ型の計算(キャスト演算等)		2			
if文(比較演算子、if文のネスト)		4			
論理演算子		2			
反復(while文、do～while文、for文)		8			
多分岐選択(else if文、switch文)		4			
break文とcontinue文		2			
中間試験		2			
実習問題(制御構造)		4			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			・情報基礎理論		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			(アルゴリズム・システム開発)		

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度
時間数は45分換算				C-SR18	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
プログラム言語Ⅱ (C言語)			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	1	
授業の目的・目標					
- 基本情報処理技術者試験に必要な知識の習得 - サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験3級～2級受験に向けた知識の習得 ㈱インフォテック・サーブ「Cプログラミング」テキスト 6章、8～10章					
授業の概要					
授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視します。 確認テストや実習問題、テキストの問題を確実に解いていくことで実力が付きます。 常に「何故そうなるのか」という気持ちを持ち、自分でしっかりと考え、理解することが大切です。					
成績評価の方法					
中間試験と期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。				期末試験	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
「Cプログラミング」(株式会社インフォテック・サーブ) ・演習課題(自作)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
ポインタとは	2	構造体配列演習問題	2		
ポインタ演習問題	2	構造体メンバを引数とする関数	2		
ポインタと配列①	2	構造体を引数とする関数	2		
ポインタと配列②	2	構造体のアドレスを引数とする関数	2		
ポインタと配列③	2	構造体リスト構造	2		
ポインタと配列④	2	構造体双方向リスト	2		
アドレスを受け渡す関数①	2	プリプロセッサ #define #include	2		
アドレスを受け渡す関数②	2	プリプロセッサ typedef	2		
ポインタチェック問題①	2	共用体①	2		
ポインタチェック問題②	2	共用体② sizeof関数	2		
構造体とは	2	列挙型	2		
構造体演習問題	2	ファイル処理	2		
構造体とポインタ	2	ファイル操作(ファイルの入出力)	2		
構造体の定義と初期化	2	後期まとめ	2		
構造体配列	2	後期末試験	2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			・情報基礎理論		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			(アルゴリズム・システム開発)		

シラバス(授業概要)				年 度	2019年度
時間数は45分換算				科目コード	C-SR19
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
オブジェクト指向設計		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	4	
授業の目的・目標					
・オブジェクト指向設計についてプログラムと設計を対応させながら学習する。 ・UMLを用いた設計方法について学習する。					
授業の概要					
講義と演習により授業を実施する。 UMLについてはastahを用いて作成する。					
成績評価の方法					
授業で行う演習と期末試験で評価する。				期末試験	50%
				演 習	50%
使用テキスト・教材					
「ゼロからわかるオブジェクト指向超入門」(技術評論社)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
オブジェクト指向とは	2	インタフェースについて	2		
モデルとは	2	ユースケース図について	2		
UMLの責務について	2	設計演習Ⅰ(業務を理解する)	2		
クラスとは	2	設計演習Ⅰ(オブジェクト図、クラス図	2		
クラスとインスタンス	2	を作成する)			
オブジェクト図とクラス図	2	設計演習Ⅰ(シナリオを作成する)	2		
多重度について	2	設計演習Ⅰ(シーケンス図を作成する)	2		
astahを使ってクラス図、オブジェクト	2	設計演習Ⅱ(業務の流れを把握する)	2		
図を作成する		設計演習Ⅱ(システムの機能を抽出する)	2		
クラスをプログラムに展開する①	2	設計演習Ⅱ(機能の使用を分析する)	2		
クラスをプログラムに展開する②	2	設計演習Ⅱ(オブジェクトを抽出する)	2		
コミュニケーションズとシーケンス図①	2	設計演習Ⅱ(分析クラス図を作成する)	2		
コミュニケーションズとシーケンス図②	2	設計演習Ⅱ(システムの振る舞いを設計する)	2		
汎化と継承について	2	設計演習Ⅱ(実装①)	2		
抽象クラスについて	2	設計演習Ⅱ(実装②)	2		
多態性について	2	設計演習Ⅱ(実装③)	2		
その他		関連科目			
		・システム開発基礎、システム開発演習			

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2019年度
						科目コード	C-SR20
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
システム開発演習			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	60	2			
授業の目的・ 目標							
前期に学習したシステム開発基礎やプログラム言語をもとに、身近なテーマで、設計からC言語によるプログラミング、テストまで行う。							
授業の概要							
1年次の学習の総まとめとして位置付けている。C言語での開発はキャラクターベースで行うので、コマンドプロンプト上に出力する。設計しそれに基づいて開発することを経験し、設計の重要性を学んでもらいたい。さらにプログラムのデバッグも十分やってもらいたい。							
成績評価の方法							
完成したシステムの設計書、コーディングしたプログラム、システムのプレゼンテーションにより評価する。						設 計 書	33%
						プ ロ グ ラ ム	33%
						プ レ ゼ ン テー シ ョ ン	34%
使用テキスト・ 教材							
・プリント（自作）							
授業内容・ 授業計画							
			時間数				
システム設計			20				
設計書に基づいてプログラミング、テスト			36				
プレゼンテーション			4				
その他				関連科目			
				・プログラム言語Ⅰ、プログラム言語Ⅱ ・システム開発基礎、オブジェクト指向設計			

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SR21	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
システム開発総合演習			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	60	2			
授業の目的・目標							
オブジェクト指向プログラム言語での開発に用いられている“UML開発手法”について学習し、C#を開発環境に用いた簡単なデータベースアプリケーションを開発する。							
授業の概要							
全60コマを前半部20コマの座学と後半部40コマの実習とに分け、前半でUML開発手法について学習した後、設計～実装までの流れを実習にて確認する。 開発実習に入ってから7～8名のグループで作業を行う。							
成績評価の方法							
授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して評価					課 題	60%	
					授業態度	20%	
					提出物	20%	
使用テキスト・教材							
オリジナルテキスト「システム開発演習」							
授業内容・授業計画							
システム設計の手順と方法 UML開発手法とは C#によるアプリケーションの開発演習			時間数				時間数
			10				
			10				
			40				
その他			関連科目				
自分でシステムを積極的に作成してもらいたい。			・卒業研究、データベース基礎				

シラバス(授 業 概 要)			時間数は45分換算		年 度	2019年度
授 業 科 目 名			授 業 形 態		科 目 コー ド	C-SR22
Windowsプログラム基礎 (C#)			講義・演習		学 科 ・ コー ス	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2		
授業の目的・ 目 標						
・C#の基本を学習する。 ・C#で簡単なWindowsアプリケーションが開発できる。						
授業の概要						
授業は教科書、演習中心に行う。 最後に課題制作を実施する。						
成績評価の方法						
提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。					課 題	50%
					出 欠 席	50%
使用テキスト・ 教 材						
「目指せプログラマー！プログラミング超入門」 (マイナビ)						
授業内容・ 授業計画						
基本文法を覚えよう① C#を書くための基本、値と変数の使い方 基本文法を覚えよう② 計算の基本 値を使ってみよう、異なるタイプを代入 すると?、値の計算 基本文法を覚えよう③ 計算の基本 異なるタイプの値を計算すると?、覚えて おくことと便利な演算子、キャストって 何? 基本文法を覚えよう④ 制御構文を覚え よう① If-else文、比較演算子、switch文 基本文法を覚えよう⑤ 制御構文を覚え よう② while文、do-while文、for文 基本文法を覚えよう⑥ 配列を使おう 配列の基本操作、Length、foreach 基本文法を覚えよう⑦ ミニゲームを 作ってみよう オブジェクト指向ってなに?① クラス をマスターしよう クラス、オブジェクト、クラスとインス タンス、インスタンスの作成 オブジェクト指向ってなに?② クラス をマスターしよう メソッド、返値を利用、引数を利用 オブジェクト指向ってなに?③ クラス の機能 アクセス修飾子、コンストラクター オブジェクト指向ってなに?④ クラス の機能 オーバーロード、プロパティ オブジェクト指向ってなに?⑤ 継承 基本クラスと派生クラス、メソッドのオーバ ーライド オブジェクト指向ってなに?⑥ 継承 newによるオーバーライド オブジェクト指向ってなに?⑦ クラスの機能 静的クラス、抽象クラス ウィンドウを使ったアプリ制作① フォームの 基本を覚えよう			時間数	4 2 		

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2019年度 G-SR23
授 業 科 目 名			時間数は45分換算		授業形態
ネットワーク設計演習			講義・演習		学科・コース コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	吉田・石野
授業の目的・目標					
・ PHP、WebサーバであるApache、データベースのMySQLが組み込まれたMAMPをインストールし、環境設定を行う。 ・ データベースを使ったWebページを作ること为目标とする。					
授業の概要					
・ PHPで使われる関数について学習する。 ・ Webページを作ること、ファイルの読み込みと書き出しを行うこと、MySQLを使うことを学習する。					
成績評価の方法					
授業中に作成した課題に基づいて評価する。					課 題 80%
					出欠席 40%
使用テキスト・教材					
PHP7+MySQL (ソーテック社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
MAMPのインストールと構築	2	プルダウンメニューを使う			2
MAMPの設定	2	リストボックスを使う			2
PHPのタグと変数	2	テキストエリアを使う			2
ユーザ関数	2	セッションを使った処理			4
変数のスコープ	2	クッキーを使った処理			4
文字列を取り出す	2	クッキーを使った処理			4
文字の変換と不要な文字の除去	2	アンケート処理を行う演習			10
配列の要素の削除、連結と分割	2				
配列の値を比較、検索	2				
フォーム入力処理の基本	10				
ラジオボタンを使う	2				
チェックボックスを使う	2				
その他			関連科目		
テキストどおりにプログラムを入力し、目的の結果を出すことが、まず第一歩			・ 卒業研究		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SR24	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
企業課題		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	内田・石野
授業の目的・目標					
・Javaプログラムの基本的な文法を学習する。 ・この授業を終えた後、Androidアプリ開発の授業に続くので、この授業では基本的なアプリケーション開発能力を身に付けることを目標とする。					
授業の概要					
・この授業は2年次に行うので、if文、for文などのC言語と共通な文法の学習はなるべく行わず、Java独自の文法を中心に学習する。					
成績評価の方法					
・単元ごとに確認の演習を行うが、この演習課題はすべて提出する必要がある。学期末にペーパー試験を行う。ペーパー試験の結果と演習課題の内容により評価する。				課 題	40%
				試 験	60%
使用テキスト・教材					
すっきりわかるJava入門（インプレスジャパン）					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
JavaとEclipseのインストール		2	静的メンバ、静的メソッド	2	
クラス名、ソースファイル名		2	カプセル化	6	
配列、拡張for文		2	継承	6	
多次元配列		2	抽象クラス	2	
多次元配列		2	インタフェース	2	
引数の利用		2	多態性	2	
オーバーロードの利用		2	例外処理	2	
引数や戻り値で配列の利用		4			
ソースファイルを複数のクラスに分割		4			
インスタンスとクラス		6			
クラス型と参照		2			
コンストラクタ		4			
その他			関連科目		
自分でエラーを直せるようになってもらいたい。			・卒業研究、C言語		

シラバス(授 業 概 要)			時間数は45分換算	年 度	2019年度
授 業 科 目 名			授 業 形 態	科目コード	O-SR25
情報特別講義Ⅰ			講義・演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	120	4	
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前免除）、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指す対策授業です。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではありません。人間はとかく楽な方、楽な方へ行きたくなるものです。ついつい逃げ出したくなりますが、合格するんだという強い意志を持って勉強に臨んでください。また、勉強はすべての科目の総まとめの意味を持っています。ここでしっかりと勉強することで、ばらばらだった科目がしっかりつながり、さらなる理解につながるで					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。					試験結果 50%
					出 欠 席 50%
使用テキスト・教材					
CompTIA IT Fundamentalsテキスト					
「ITパスポート試験問題集」（インフォテック・サープ）					
授業内容・授業計画					
第1章 コンピュータとOS チェック問題	2	3. システム開発	2	時間数	2
第2章 モバイルデバイス チェック問題	2	3.2 システム開発技術(開発管理技術、ア	2	時間数	2
第3章 ストレージ チェック問題	2	2. 概、ソフトウェア導入・受入れ工程)	2	時間数	2
第4章 アプリケーション チェック問題	2	3. システム開発	2	時間数	2
第5章 CPUとメモリー チェック問題	2	3.3 プロジェクトマネジメントとサービスマネ	2	時間数	2
第6章 インターフェース チェック問題	2	ジメント①	2	時間数	2
第7章 入出力デバイス チェック問題	2	3. システム開発	2	時間数	2
第8章 ネットワーク接続 チェック問題	2	3.3 フロネクトマネジメントとサービスマネ	2	時間数	2
第9章 ネットワークのプロトコルと応用	2	ジメ	2	時間数	2
チェック問題	2	ント②	2	時間数	2
第10章 セキュリティ チェック問題	2	4. 企業活動と情報システム	2	時間数	2
第11章 メンテナンスとトラブルシュー	2	4.1 企業と法務(企業活動、経営組織、業務分	2	時間数	2
ティング チェック問題	2	析、問題解決手法、意思決定)	2	時間数	2
付録 TCP/IP チェック問題	2	4. 企業活動と情報システム	2	時間数	2
模擬問題①	2	4.1 企業と法務(財務会計、管理会計、知的財	2	時間数	2
模擬問題②	2	産権)	2	時間数	2
模擬問題③	2	4. 企業活動と情報システム	2	時間数	2
1. コンピュータシステム	2	4.1 企業と法務(セキュリティ、カイトフィン、	2	時間数	2
1.1 ハードウェア(種類、入出力装置	2	関連法規、標準化関連)	2	時間数	2
基本構成、プロセッサ)	2	4. 企業活動と情報システム	2	時間数	2
1. コンピュータシステム	2	4.2 経営戦略(経営情報分析手法、マーケ	2	時間数	2
1.1 ハードウェア(メモリ、補助記憶装置、記憶	2	ティ	2	時間数	2
階層、入出力インターフェース)	2	ング、ビジネス戦略、技術開発戦略)	2	時間数	2
1. コンピュータシステム	2	4. 企業活動と情報システム	2	時間数	2
1.2 基礎理論(データの表現、文字	2	4.2 経営戦略(経営管理システム、ビジネ	2	時間数	2
コード、2進数)	2	スシステム、e-ビジネス)	2	時間数	2
1. コンピュータシステム	2	5. 中間	2	時間数	2
1.2 基礎理論(集合/論理演算、確率	2	5.1 アプリケーション(システム障害の特定手順、	2	時間数	2
統計、待ち行列理論/グラフ理論)	2	ネットワーク機器の販売管理業務)	2	時間数	2
1. コンピュータシステム	2	5. 中間	2	時間数	2
1.3 ソフトウェア(OSの種類、ファイル	2	5.1 ネットワーク(文献の貸出管理業務、蔵書の	2	時間数	2
システム、バックアップ)	2	入室管理)	2	時間数	2
1. コンピュータシステム	2	5. 中間	2	時間数	2
1.3 ソフトウェア(ソフトウェアパッケージ、ワー	2	5.1 アプリケーション(Webページの作成、フイ	2	時間数	2
プロ・表計算ソフト他)	2	ル	2	時間数	2
1. コンピュータシステム	2	画(像)	2	時間数	2
1.4 システム構成(システムの形態・構成、シ	2	5. 中間	2	時間数	2
ステムの評価指標、稼働率)	2	5.2 マネジメント(通信販売管理、在庫管理シ	2	時間数	2
2. コンピュータの技術要素	2	ステムの開発計画)	2	時間数	2
2.1 データベース(保全機能、リカバリ機能)	2	5. 中間	2	時間数	2
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	5.2 マネジメント(プログラミングとテスト、商品	2	時間数	2
通信プロトコル)	2	販売システムの開発)	2	時間数	2
2. コンピュータの技術要素	2	5. 中間	2	時間数	2
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2	5.3 ストウェア(会員データの分析、販売管	2	時間数	2
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	理業務)	2	時間数	2
通信プロトコル)	2	5. 中間	2	時間数	2
2. コンピュータの技術要素	2	5.3 ストウェア(商品販売データの分析、事	2	時間数	2
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2	業(戦略立案)	2	時間数	2
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	5. 中間	2	時間数	2
通信プロトコル)	2	5.3 ストウェア(システム開発の契約、売上回	2	時間数	2
2. コンピュータの技術要素	2	ト	2	時間数	2
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2	プロジェクト)	2	時間数	2
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	ITパスポート模擬試験①	4	時間数	4
通信プロトコル)	2	ITパスポート模擬試験②	4	時間数	4
2. コンピュータの技術要素	2	ITパスポート模擬試験③	4	時間数	4
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2	ITパスポート模擬試験④	4	時間数	4
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	ITパスポート模擬試験⑤	4	時間数	4
通信プロトコル)	2	基本情報処理技術者試験 午前免除試験	6	時間数	6
2. コンピュータの技術要素	2	過去	6	時間数	6
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2	問題①	6	時間数	6
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	基本情報処理技術者試験 午前免除試験	6	時間数	6
通信プロトコル)	2	過去	6	時間数	6
2. コンピュータの技術要素	2	問題②	6	時間数	6
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2	基本情報処理技術者試験 午前免除試験	6	時間数	6
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	過去	6	時間数	6
通信プロトコル)	2	問題③	6	時間数	6
2. コンピュータの技術要素	2	基本情報処理技術者試験 午前免除試験	6	時間数	6
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2	問題④	6	時間数	6
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2	基本情報処理技術者試験 午前免除試験	6	時間数	6
通信プロトコル)	2	過去	6	時間数	6
2. コンピュータの技術要素	2	問題⑤	6	時間数	6
2.1 データベース(基本機能、リカバリ機能)	2			時間数	
2.2 ネットワーク(基本構成、LAN間接続装置	2			時間数	
通信プロトコル)	2			時間数	
その他			関連科目		
			・システム開発基礎、オブジェクト指向設計		
			・プログラム言語Ⅰ、プログラム言語Ⅱ		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SR26	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
情報特別講義Ⅱ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	120	4	
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
授業はすべて受験対策の授業となる。基本情報技術者試験を受験する場合は、午前免除試験合格クラスと合格していないクラスに分かれる。授業は他の学科との混合クラスとなる。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価する。				試験結果	20%
				出欠席	80%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者試験午前問題集、午後問題集（インフォテックサーブ）					
応用情報技術者試験午前問題集、午後問題集（インフォテックサーブ）					
授業内容・授業計画					
		時間数			
基本情報(午前、午後とも受験)					
午前問題対策		60			
午後問題対策		60			
基本情報(午後のみ)					
アルゴリズム対策		20			
言語対策		20			
午後分野対策		20			
基本情報(午前、午後とも受験)					
午前問題対策		60			
午後問題対策		60			
その他			関連科目		
			・ネットワーク、セキュリティ ・プログラム言語		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SR27	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
情報特別講義Ⅲ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、MOSの合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
授業はすべて受験対策の授業となる。基本情報技術者試験を受験する場合は、午前免除試験合格クラスと合格していないクラスに分かれる。授業は他の学科との混合クラスとなる。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価する。				試験結果	20%
				出欠席	80%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者試験問題集、ITパスポート試験問題集					
応用情報技術者試験問題集、MOS攻略問題集					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
基本情報(午前、午後とも受験)			ITパスポート対策		60
午前問題対策		30	MOS対策		60
午後問題対策		30			
基本情報(午後のみ)					
アルゴリズム対策		15			
言語対策		15			
午後分野対策		15			
基本情報(午前、午後とも受験)					
午前問題対策		30			
午後問題対策		30			
その他			関連科目		
情報特別講義Ⅲが終了後、情報特別講義Ⅳを実施する。			情報特別講義Ⅱ、情報特別講義Ⅳ		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SS01	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
制御プログラム		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	60	2	和田
授業の目的・目標					
・マイコン利用による制御プログラムの基礎と応用方法について実習を通して学ぶ。 ・自分で開発企画、プログラム作成、結果発表をできるようにしたい。					
授業の概要					
・プログラムの大きさによらず、自分の考えを構築できることがポイント。					
成績評価の方法					
筆記試験の結果と実習課題の評価等を総合評価した上で決定する。				課 題	40%
				試 験	60%
使用テキスト・教材					
A r d u i n o で電子工作をはじめよう（秀和システム）、拡張キット等					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
授業の流れ、目標の確認		2	復習&自由課題		2
LEDを増やしてみる		6			
色を制御してみる		2			
音をだしてみる		2			
明るさを調べてみる		2			
温度を測定する		2			
距離センサーを使ってみる		2			
サーボモーターを動かす		2			
液晶ディスプレイを使う		2			
電子さいころを作る		2			
ラーメンタイマーを作る		2			
Arduinoで時計を作る		2			
その他			関連科目		
			・卒業研究、C言語		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SS02	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
Officeアプリケーション		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	吉村
授業の目的・目標					
・ Microsoft Office Specialist Access2016の資格取得を目的とする。					
授業の概要					
・ 模擬問題を解きながら、MOS Access2016取得に必要な技能を養成する。 ・ 講義終了直後、クラス全員がMOS Access2016を受験する。					
成績評価の方法					
・ 本試験結果をもとに、出席率、授業態度などを考慮して評価				試 験	60%
				出席率	20%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
FOM出版「よくわかるマスター MOS Access2016 対策テキスト&問題集 改訂版」					
授業内容・授業計画					
		時間数			
模擬問題・実習データのインストール		2			
Lesson問題（全119問）		28			
模擬試験（全5回）＋見直し		30			
その他			関連科目		
			表計算基礎、表計算応用		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SS03	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
企業課題			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	
授業の目的・目標					
・ HTML・CSSを使用してデザイン性のあるWebページ作成を作成する。 ・ JavaScript、jqueryを使用して動的なWebページを作成する。					
授業の概要					
・ HTMLにJavaScriptを追加することによって、閲覧する側の使いやすさを追求できる。 ・ JavaScriptは他のプログラミング言語の考え方の礎となる。					
成績評価の方法					
・ 課題提出					課 題 100%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
HTMLの復習	4	乱数			2
CSSでカラム分割	4	練習問題			4
時計・日付表示	2	オーダーフォーム作成			2
時間連動メッセージ	2	Canvasで図形を描く			2
関数、jsファイル	2	マウスポイント画像の表示変更			2
繰り返し	2	Jqueryスライドショー			8
練習問題	2	課題WEBページ作成			10
配列	2				
IF	2				
練習問題	2				
switch	2				
Form	2				
その他			関連科目		
			・ HTML基礎、HTML応用		

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SS04	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
表計算アプリケーション		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	60	2	吉田
授業の目的・目標					
本来は手作業で行うべきExcelの操作を自動で実行してくれる機能であるマクロを、Excel VBAというプログラミング言語で記述することを学習する。と言っても、「マクロの記録」のようにサポートしてくれる機能が豊富なので、プログラムが苦手でもスムーズに作業が進められる。					
授業の概要					
授業では毎回、Excel VBAの基本知識を学ぶと共に、様々な課題に取り組むことで実践的なプログラミング技術を習得します。					
成績評価の方法					
提出してもらう課題により評価する。					課 題 100%
使用テキスト・教材					
技術評論社 「Excel VBA本格入門」 大村あつし 著					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
基本操作とデモプログラム紹介		6	課題作成 (繰り返し処理)	4	
基本構文を理解		2	対話型のマクロ	2	
ブックとシートを操作		2	課題作成 (対話型のマクロ)	4	
セルをVBAで操作		2	ユーザー定義関数	2	
ユーザーフォーム		2	文字列を操作	2	
ユーザーフォーム		2	日付や時刻を操作	2	
課題作成 (マクロの記録)		4	グラフを操作	2	
変数		2	課題作成 (創作)	6	
課題作成 (変数)		4			
条件分岐		2			
課題作成 (条件分岐)		4			
繰り返し処理		2			
その他			関連科目		
			表計算基礎、表計算応用		

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SS05	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
スマホアプリケーション			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択	60	2	石野		
授業の目的・目標							
この授業はAndroidの最新の開発ツールであるAndroid Studioを使い、Androidの開発手法を学習する。							
授業の概要							
始めにAndroid Studioをインストールし、Android Studioの基本的な操作方法を学習する。次にツールボックスを使い基本的な画面の作成方法、画面の遷移方法、データベースの操作、ネットワークプログラミングなどを学習する。							
成績評価の方法							
提出してもらう課題により評価する。						課 題	100%
使用テキスト・教材							
Androidアプリ開発入門							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
Android Studioのインストール			2	総合演習			4
SDKについて			2				
Androidアプリの作成			2				
パレットを使ってボタンを配置			4				
イベントリスナーによる処理			2				
doActionメソッドの利用			2				
トーストの利用			2				
ウィジェットの利用			6				
ListViewの利用			6				
インテントの利用			8				
SQLiteの操作			10				
ネットワークプログラミング			8				
その他				関連科目			
				卒業研究、企業課題			

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SS06	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
C A Dオペレーション			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	選択	60	2	猪本		
授業の目的・目標							
機械製図とAuto CADの基本操作の習得する。							
授業の概要							
機械C A Dの基本的な使い方を学習する。							
成績評価の方法							
図形の大きさに合わせた用紙サイズ・尺度選択し、三面図が描く。						課 題	100%
使用テキスト・教材							
Auto CAD LT2016 機械製図							
授業内容・授業計画							
			時間数				
機械製図の概要			2				
Auto CADの概要			4				
CADの基本操作			6				
CADの基本操作			8				
テンプレート			2				
修正コマンド			8				
一面図			6				
二面図			6				
三面図他			6				
縮尺・倍尺			2				
ブロック			4				
レイアウト			6				
その他			関連科目				
			卒業研究、企業課題				

シラバス(授業概要)				年 度	
				2019年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				G-SS07	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義Ⅳ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	60	2	
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、MOSの合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
授業はすべて受験対策の授業となる。基本情報技術者試験を受験する場合は、午前免除試験合格クラスと合格していないクラスに分かれる。授業は他の学科との混合クラスとなる。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価する。				試験結果	20%
				出欠席	80%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者試験問題集、ITパスポート試験問題集					
応用情報技術者試験問題集、MOS攻略問題集					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
基本情報(午前、午後とも受験)			ITパスポート対策		60
午前問題対策		30			
午後問題対策		30	MOS対策		60
基本情報(午後のみ)					
アルゴリズム対策		15			
言語対策		15			
午後分野対策		15			
基本情報(午前、午後とも受験)					
午前問題対策		30			
午後問題対策		30			
その他			関連科目		
情報特別講義Ⅲが終了後、情報特別講義Ⅳを実施する。			情報特別講義Ⅱ、情報特別講義Ⅶ		

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2019年度	
				科目コード		C-SS08	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
CompTIA特別講義			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択	60	2			
授業の目的・目標							
情報処理ではなく、CompTIA試験の合格を目指すための科目である。CompTIAの上位資格である「A+」の取得を目指す。							
授業の概要							
C o m p T I A試験の対策授業を行う。							
成績評価の方法							
出欠席及び合格することなどで評価する。					試験結果	20%	
					出 欠 席	80%	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
CompTIA試験対策			時間数 60			時間数	
その他			関連科目				
			情報特別講義Ⅱ、情報特別講義Ⅳ				

シラバス(授業概要)					年 度		2019年度
					科目コード		G-SS09
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
卒業研究			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択	120	8	吉村、石野		
授業の目的・目標							
2年間の学習成果をまとめとして、グループごとの研究テーマにより総合的な研究を行う。							
授業の概要							
テーマは、主に基本システム開発・応用システム開発・シミュレーションなどで、システムを作成し、それを卒業論文にまとめ発表する。							
成績評価の方法							
できあがったシステム、卒業論文、発表により評価する。						システム	60%
						論 文	20%
						発 表	20%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
基本設計、概要設計、詳細設計 システム作成、論文作成			時間数				時間数
			40				80
その他			関連科目				

シラバス(授業概要)					年 度		2019年度
					科目コード		G-SS10
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
インターンシップ			講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択	120	8			
授業の目的・目標							
内定先企業から長期のインターンシップに来てもらいたいという依頼があったときに対応する科目である。							
授業の概要							
企業のインターンシップである。							
成績評価の方法							
出欠席と企業側の評価による。						出欠席	70%
						企業評価	30%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
インターンシップ			時間数 120				時間数
その他				関連科目			